

新しい地方経済・生活環境創生交付金事業評価シート

	担当課名	建設産業課	事業No.	3
事業名	イーストとくしまDMOニューツーリズム推進による新たな事業創出による地域活性化の実現【第2世代交付金】			
目的	徳島県東部地域の15市町村で構成し圏域の広域的な観光地域づくりについて官民連携で取り組むイーストとくしまDMOが、マーケティング調査等の結果に基づき本圏域のリーチすべき対象とコンテンツ造りの方針を定め、「ニューツーリズムの推進」として観光コンテンツの造成や創業促進・人材育成、シビックプライドの醸成等に取り組むことで、「訪れてよし」「住んでよし」の観光づくりを推進し、圏域の所得の向上に取り組む。			
実施内容	地域DMO「イーストとくしま観光推進機構」において次の事業を実施。 1) 誘客促進のため15市町村ごとに1つ以上の体験型観光コンテンツを開発 2) 観光資源の魅力度向上をテーマに定期的にワーキンググループを開催			
重要業績評価指標 (KPI)	(※事業評価については、 別紙のとおりDMO法人の外部評価委員会において実施)			
達成度				

【事業費と財源内訳】

(単位：円)

2025年度	計画額	実績額	交付金充当額	備考
事業費	900,000	900,000	450,000	事業費の1/2

【2025年度の取組と課題】

○体験型観光コンテンツ開発等支援

15市町村で新たな体験型コンテンツ開発し、藍の館を組み込んだメディアツアーを開催。藍の館について多言語デジタルガイドを作成。

イーストとくしま観光推進機構が管理しているSNSにおいて、勝瑞城館跡や藍屋敷おくむら、藍の館や和風ダイニング連などの町内事業所のPRを実施。

イーストとくしま観光推進機構が発行しているパンフレットに藍の館やバラ園等を掲載。

○課題

町内観光事業者、DMO、市町村、商工業者といった多様な関係者が連携し、地域に眠る観光資源の発掘、磨き上げを図る必要がある。

【今後の取組】

観光誘客の推進及び体験型・滞在型コンテンツを観光資源として磨き上げるほか、継続してSNS等による情報発信を行い、藍住町の観光コンテンツの露出の拡大を図っていく。

また、地域資源の魅力が知られ、評価・シェアされていくことで観光交流人口の拡大を図り、経済が潤う地域を目指す。

※藍住町総合計画・総合戦略推進委員会の意見

(※事業評価については、DMO法人の外部評価委員会において実施)